

「雪像造りで国際交流」

国際雪像コンクール開幕

二月三日、第二十五回国際雪像コンクールのウェルカムパーティーが和やかな雰囲気の中、盛大に行われた。このコンクールには、二十の国や地域のチームが参加する。その中の幾つかのチームに、札幌の印象や、雪像造りの意気込みなどを聞いた。各チームが思い思いに自分たちの国をアピールして、良いものを作ろうというのが、ひしひしと伝わってきた。

なお、雪像製作は四日から始まり、七日に審査・結果発表される。

まず、札幌の姉妹都市・ポートランド市チームに札幌の街の印象を聞いたところ、「道が広く、他の日本の街にくらべて印象が違います」と答えた。アメリカチームは、「札幌はとても気に入りました。私達の作る雪像はホーム・スイートホームというもので、外側は丸太でできており、中には暖炉やロッキングチェアもあって、子供達の中にはいれば暖まれるような雪像です。ぜひ一位を取りたいです」と話した。

参加二回目のハワイチームは「雪像は、ハワイ



ウェルカムパーティーでポーズを決めるハワイチーム（3日）

の伝説の守護神（コア）の戦士で、日本という侍のようなものです」と説明し、「暖かい国から来たので難しいが、ぜひ完成させたい」と言った。

また、ハワイの方々は雪まつりに参加したのはこれで二回目だそうです。韓国チームは「札幌に来て皆さんがとても歓迎してくれて驚き、嬉しかったです。札幌の街は、何となく落ち着いていて



氣勢を上げ酒盛りするスウェーデンチーム応援団（4日）

きれいで穏やかです」と述べ、「私達の雪像は、我ら時代のラオコン」を造ります。これはコンピューターから出てくる雪像にして現代と過去を混ぜた感じにします」と話した。グアムチームは「今日参加してみての感想は、チャレンジ精神のあふれるような気持ちです。札幌雪まつりはこれで七回目の参加で、また参加したいと思っています」と意気込む。雪像は、ジャンルをモチーフにするとのこと。

オーストラリアチームは「雪像造りを通して一生懸命友達を作り国際交流をしたいです。雪像は次のオリンピックがシドニーで開催されるので、オーストラリアのシンボ

ルであるカンガルーをスキーの上に乗せます」と話した。

平成九年のコンクールの覇者・デンマークチームは「雪像で見せたい所は公害のない地球です。天皇陛下が五月に来られるので、デンマークのインパクトを見せたいです」。デンマークは、公害の無い地―失われし樂園を雪像の形で見せようとしている。

初参加のサイパンチームは「サイパンには、いろんなフルーツはあるけれど雪は無いので、この雪まつりはとてもエキサイティングです。私達の雪像は、タイガーストーンというサイパンで家を造る石があるが、そのタイガーストーンと、ゴルフ場と美しい海を雪像に入りたいです。そして樂園を何らかの形で再現して皆さんに見せたいと思います。タイガーストーン自体が樂園の天国なんです」と語った。

「エコキップ」で雪まつり巡りはいかが？

札幌市交通局では、毎月五日と二十日に「エコキップ」を発売している。この切符一枚で、地下鉄・市営バス市電が乗り放題で、大人一枚六百円で発売されている。これで真駒内会場やすすきの会場に寄るのはいかがだろうか。

The Digital SNOW FESTIVAL Press
デジタル雪まつり新聞

この新聞はさっぽろ雪まつりを
速報するために特別に
作られた編集チームが
MacintoshのDTPで製作し、
登録に特許取得しております。
印刷にインターネット上にPDF形式で
全く同じものを掲載します。

発行
デジタル雪まつり新聞
編集局

※
札幌市立札幌星園高等学校
屋間部パソコン部内新聞局
道都大学短期大学部OA研究部

AGE Hokkaido
教育とコンピュータ利用研究会北海道支部